

# TOKYO強靱化プロジェクト

## ～「100年先も安心」を目指して～



あなたの  
気づかない  
ところでも、  
災害に強い  
まちづくりを  
進めています。

「100年先も安心」を目指して  
**TOKYO  
強靱化  
PROJECT**

風水害や大規模地震、火山噴火、  
電力通信の途絶、新たな感染症。  
迫りくる様々な危機を見据えた、  
100年先も安心な  
世界に誇れる東京をめざして。  
先人たちの努力の結晶ともいえる  
安全・安心を、さらにレベルアップして  
未来に引き継いでいきます。

東京都

ポスター提供：東京都

わが国の首都であり、経済の中心都市・東京で、強靱で持続可能な都市の実現を目指した取り組みがスタートした。小池百合子都知事のリーダーシップのもとで策定された長期防災計画「TOKYO強靱化プロジェクト」で、100年先までも安心できる災害に強い都市を目指す。目標とする2040年代までに17兆円を超える防災投資を行い、都民の命や財産を守る約190の施策・事業を展開する。TOKYO強靱化プロジェクトの概要や、その担い手である建設産業に対する都政トップの考えを紹介する。

## 2040年代までに17兆円投入

### 紙面案内



〈トップインタビュー〉  
2～3面 小池百合子東京都知事



〈対談〉  
4～5面 谷崎馨一都技監  
乗京正弘東京建設業協会会長

### 〈局別概要〉

- 6面 都市整備局
- 7面 住宅政策本部、建設局
- 8面 港湾局、交通局
- 9面 水道局、下水道局

### 〈TOKYO強靱化プロジェクト 現場ピックアップ〉

- 12面 官民連携の高台まちづくり 施工：日鉄エンジニアリング・佐藤工業JV
- 13面 環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）工事 施工：大成・鹿島・大林・京急JV
- 14面 新砂水門（再整備）建設工事（その2） 施工：東亜建設工業
- 15面 大江戸線蔵前駅防水ゲート両圧化対応工事 施工：カナデビア
- 16面 蛇崩川増強幹線工事、その3工事、その4工事 施工：ノバック

KENGO KUMA & ASSOCIATES  
隈研吾建築都市設計事務所

ORIMOTO 株式会社 織本構造設計  
代表取締役 小林光男  
本社 162-0812 東京都新宿区西五軒町13-1 住友不動産館田ビル3号館 7F  
Tel 03-5227-7590 Fax 03-5227-7596  
大阪支所 九州支所 台湾支店 www.orimoto.co.jp  
免震・制振のエキスパート

ISHIMOTO 石本建築事務所  
代表取締役社長 長尾 昌高  
〒102-0074 東京都千代田区九段南4-6-12  
tel. 03-3262-7161 https://www.ishimoto.co.jp

確かなものを 地球と未来に

一般社団法人 日本建設業連合会  
JFCC  
JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS  
会長 宮本 洋一  
東京都中央区八丁堀 2-5-1 電話 03(3553)0701 (代表)  
URL : https://www.nikkenren.com/

株式会社 大建設  
代表取締役社長 菅野 尚教  
東京・大阪・名古屋・九州・札幌・東北・広島・北九州・沖縄  
www.daiken-sekkei.co.jp

AXS 株式会社 佐藤総合計画  
代表取締役会長 細田雅春  
代表取締役社長 鈴岩 崇  
axscom.jp

KUME SEKKEI 久米設計  
代表取締役社長 藤澤 進  
〒135-8567 東京都江東区潮見2-1-22 TEL(03)5632-7811  
東京 札幌 東北 横浜 中部 京都 大阪 九州 沖縄 上海 ハノイ ホーチミン シンガポール

株式会社 山下設計  
YAMASHITA SEKKEI INC.  
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.  
代表取締役社長 藤田 秀夫  
東京都中央区日本橋小町6-1 TEL:03-3249-1555

NIHON SEKKEI 日本設計  
代表取締役社長 篠崎 淳  
think+

NIKKEN 日建設計  
代表取締役社長 大松 敦  
EXPERIENCE, INTEGRATED

Web建設物価

Webだからできる「建設物価」の新しいカタチ

豊富な情報量、電子版ならではの使いやすさにより、国、県、市町村、民間に幅広く使われています。

01 Web限定情報が約23万単価

02 1契約で3人同時利用可能(標準版)

03 豊富なバックナンバーで保管場所の軽減

04 必要な情報の検索が簡単

05 Webならではの品目写真や価格推移グラフ

06 お気に入り機能で業務を効率的に

利用期間	同時ログイン数	Mapサービス	お気に入り機能	ダウンロード可能単価数(年間)	利用価格(税込)
標準版 1年間	3人	○	○	1,000単価	52,800円

※本サービスを利用できる範囲は、原則として、利用申込書に記載されたご利用地域(同一住所内にある最小単位の部署(部・室・課・係等))とします。複数の所在地・複数の部署でご利用になる場合は、それぞれで本サービスをご契約ください。

日本最大級のデータ数を掲載

土木関連部品のCADデータ ライブラリ

i-部品Get

3次元データも充実!

無料 会員登録、ダウンロードは無料!

便利 作業効率をアップ!

- 3次元データの作成不要
- 絞り込み検索機能でほしい情報を素早く入手
- 複数のデータを一括で検索・ダウンロード

充実 設計・施工計画の可能性を拡大!

- 350社1200製品のデータを収録 順次拡大中!
- 3次元データの活用で情報の共有を確実に

いまずぐ検索を!

i-部品

一般財団法人 建設物価調査会

オンラインショップ 建設物価BookStoreから 建設物価 Book 検索

お申し込み詳細は 建設物価BookStoreから 建設物価 Book 検索

お問い合わせ・掲載のお申し込みはこちらまで

運営者 i-部品Get事務局 (一般財団法人 建設物価調査会内)

03-3663-2455 support@i-buuhinget.com https://www.i-buuhinget.com/

i-Construction わたしたちは、i-Constructionの取り組みを応援します

# 安全・安心な都市を実現 TOKYO強靱化プロジェクト

Interview

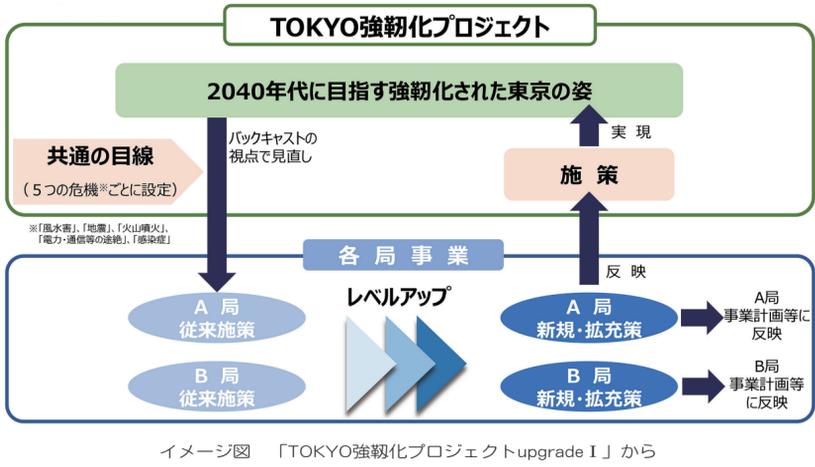
## 東京都知事 小池 百合子氏



# 10年で7兆円集中投資

自然災害が激甚化・頻発化する中で、強靱で安心な都市の実現が重要性を増す。東京都は2022年12月に「TOKYO強靱化プロジェクト」を立ち上げた。風水害や地震などの危機を想定し、さまざまな施策を展開する。23年12月に

は取り組みの加速化に向けて、プロジェクトをアップグレード。ハード・ソフト両面からさらなる施策の強化を図っている。策定の経緯や危機ごとの取り組みなどについて、小池百合子東京都知事に聞いた。

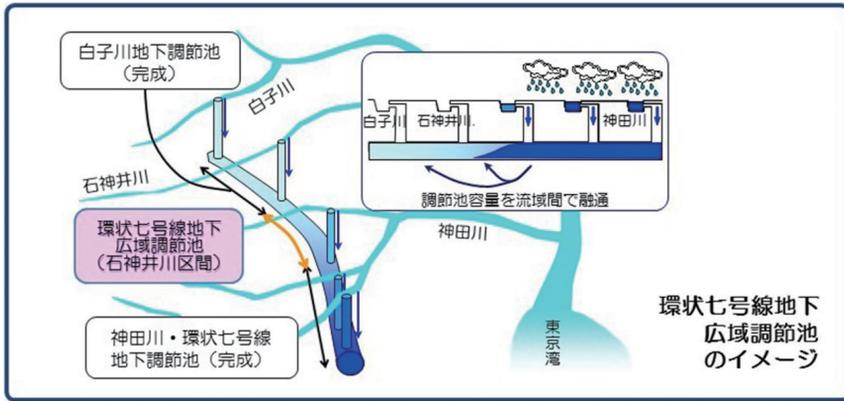


「実現に向けて、五つの危機に対する共通の目標を共有し、オール都府で危機意識を持つ。地震とえよ、常に」。これはどんなに台風が同時に発生する可能性もあっても当てはまる。強靱化や首都防衛。常に最悪の事態を想定し、五箇にあたっては基本になる考え方。本プロジェクトでは、都が主体的に実施するべき事業を、複合災害への備えとあわせて取りま

「40年代に目指す強靱化された東京」とは、どのような都市になるか。インフラ整備などハード面に主眼を置きつつ、デジタル活用や多様な主体との連携等ソフト対策も打ち出している。総事業費は40年代までに約17兆円。そのうち最初の10年間に7兆円を集中的

「TOKYO強靱化プロジェクト」に投じ、取り組みの加速化を図る。まず「各局で自然災害が激甚化・頻発している。特に今年は台風や緑陰帯による豪雨などの風水害が多発し、気の休まらない日々が続く。東京都は2022年12月、あらゆる災害から都民の生命と暮らしを守るため「TOKYO強靱化プロジェクト」を立ち上げた。『100年先も安心できる東京』を目指して『風水害』『地震』『火山噴火』『電力・通信等の途絶』『感染症』という五つの危機を想定し、2040年代に東京が目指す姿や方向性を示した。

## 長期的な視点で取り組み推進



環状七号線地下広域調整池のイメージ(東京都ホームページから)

「バックキャスト」の手法を活用し、目標とする東京の姿として次の二つを定義した。一つは「気候変動や地震等に対応したハード整備、社会情勢の変化を踏まえたソフト対策で、都民の生命を最大限守り、都市機能を最小限に抑え、都市機能を早期に回復できる。もう一つは「多様な危機への万全な備えが評価され、さまざまな投資を呼び込むとともに、国内外から人々が集う、安全・安心で持続可能な都市」だ。これらの実現を確かなものとするため、23年12月にプロジェクトをアップ

一般社団法人  
**全国建設業協会**  
会長 今井雅則  
東京都中央区八丁堀二一五-1  
電話 〇三(三五)九三九六

大林組

MAKE BEYOND  
つくるを拓く

つくるを、  
つくり変える。

地球が輝き続ける、まちづくりを。

私たちは、豊かで安心・安全な「まちづくり」を通して、サステナブル社会を実現し、地球の未来につないでいきます。

想いをかたちに 未来へつなぐ  
**TAKENAKA**  
株式会社 竹中工務店  
https://www.takenaka.co.jp/

株式会社 竹中土木  
https://www.takenaka-doboku.co.jp/

SHIMZ

子どもたちに誇れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION  
**清水建設**

もっといい未来をつくる 鹿島の7つの約束

100年をつくる会社  
**in鹿島**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsと鹿島の事業活動の詳細はこちら

# 都民の生命と暮らしを守り 首都機能や経済活動を維持

## 施策強化へ中間目標設定



「かつては神田川や目黒川などが頻りにあふれ、甚大な浸水被害が発生していたが、近年は様相が変わってきている。これまで整備を進めてきた調節池等が浸水被害の低減に大きな効果を発揮している」

「気候変動を踏まえて、都内で豪雨対策の目標降雨を時間10mm引き上げ、整備を推進している。調節池等については、30年度までに新たに約200万立方メートルを新設する。個々の調節池の整備にとどまらず、環七地下広域調節池等を連結し、東京湾までつなぐ地下河川の事業化に取り組む。地下トンネルで複数の調節池を連結することで、線状水帯による数時間の豪雨にも高い効果を生み出す」

「自然が持つ力を防災や生物多様性の保全に生かす『グリーンインフラ』も導入し、豪雨時の流出抑制を推進する。本年度は都立公園など30カ所の公共施設でインフラの設置等を先行実施する。30年度までに100カ所以上のグリーンインフラ導入を目標とする」

「首都直下地震の発生懸念が高まっている。『全国で地震が相次ぎ、年始めに能登半島地震が発生した。8月に新大塚200万立方メートル事業化は、日頃からの準備にとどまらず、環七地下広域調節池等を連結し、東京湾までつなぐ地下河川の事業化に取り組む。地下トンネルで複数の調節池を連結することで、線状水帯による数時間の豪雨にも高い効果を生み出す』

「自然が持つ力を防災や生物多様性の保全に生かす『グリーンインフラ』も導入し、豪雨時の流出抑制を推進する。本年度は都立公園など30カ所の公共施設でインフラの設置等を先行実施する。30年度までに100カ所以上のグリーンインフラ導入を目標とする」

「気候変動を踏まえて、都内で豪雨対策の目標降雨を時間10mm引き上げ、整備を推進している。調節池等については、30年度までに新たに約200万立方メートルを新設する。個々の調節池の整備にとどまらず、環七地下広域調節池等を連結し、東京湾までつなぐ地下河川の事業化に取り組む。地下トンネルで複数の調節池を連結することで、線状水帯による数時間の豪雨にも高い効果を生み出す」

「自然が持つ力を防災や生物多様性の保全に生かす『グリーンインフラ』も導入し、豪雨時の流出抑制を推進する。本年度は都立公園など30カ所の公共施設でインフラの設置等を先行実施する。30年度までに100カ所以上のグリーンインフラ導入を目標とする」

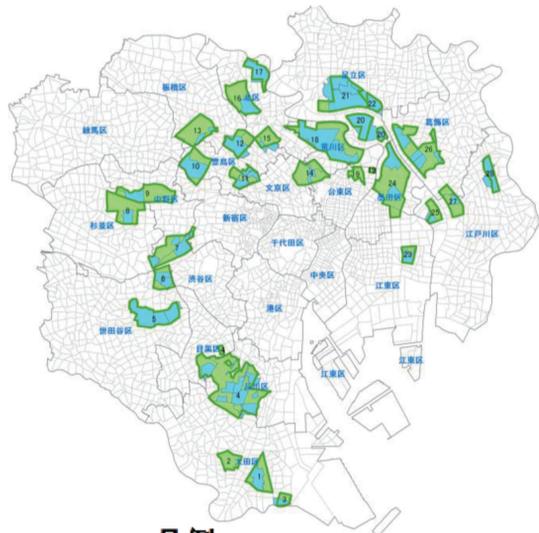
「かつては神田川や目黒川などが頻りにあふれ、甚大な浸水被害が発生していたが、近年は様相が変わってきている。これまで整備を進めてきた調節池等が浸水被害の低減に大きな効果を発揮している」

「気候変動を踏まえて、都内で豪雨対策の目標降雨を時間10mm引き上げ、整備を推進している。調節池等については、30年度までに新たに約200万立方メートルを新設する。個々の調節池の整備にとどまらず、環七地下広域調節池等を連結し、東京湾までつなぐ地下河川の事業化に取り組む。地下トンネルで複数の調節池を連結することで、線状水帯による数時間の豪雨にも高い効果を生み出す」

「自然が持つ力を防災や生物多様性の保全に生かす『グリーンインフラ』も導入し、豪雨時の流出抑制を推進する。本年度は都立公園など30カ所の公共施設でインフラの設置等を先行実施する。30年度までに100カ所以上のグリーンインフラ導入を目標とする」

「気候変動を踏まえて、都内で豪雨対策の目標降雨を時間10mm引き上げ、整備を推進している。調節池等については、30年度までに新たに約200万立方メートルを新設する。個々の調節池の整備にとどまらず、環七地下広域調節池等を連結し、東京湾までつなぐ地下河川の事業化に取り組む。地下トンネルで複数の調節池を連結することで、線状水帯による数時間の豪雨にも高い効果を生み出す」

「自然が持つ力を防災や生物多様性の保全に生かす『グリーンインフラ』も導入し、豪雨時の流出抑制を推進する。本年度は都立公園など30カ所の公共施設でインフラの設置等を先行実施する。30年度までに100カ所以上のグリーンインフラ導入を目標とする」



整備地域・重点整備地域の指定状況  
「TOKYO強靱化プロジェクトupgrade I」から



西新宿地区の再編イメージ  
「TOKYO強靱化プロジェクトupgrade I」から

**TODA**

**Build the Culture.**  
人がつくる。人でつくる。

戸田建設 Build the Culture 特設サイト

地図に染る仕事、大成建設  
For a Lively World

**コンクリートから未来を創ろう。**

大成建設は、環境配慮コンクリート「T-eConcrete®」の活用によって、CO<sub>2</sub>排出量を削減し、脱炭素社会の実現に貢献します。

「T-eConcrete®」は通常のコンクリートと同様に、鉄筋コンクリート構造物へ使用でき、現場での製造が可能です。その中でも、Carbon-Recycleは製造過程におけるカーボンネガティブを達成するコンクリートです。これら大成建設は、環境分野のフロントランナーとして、未来を創るコンクリートの開発と運用実績を重ね、カーボンニュートラルに向けた取り組みを加速させていきます。

T-eConcrete® ラインアップ

- 建築基準法対応型  
セメントを減らし、高炉スラグ(製鉄過程で生じる産業副産物)を使用。建築基準法に準拠した建物の建設に適しています。
- フライアッシュ活用型  
セメントを減らし、高炉スラグとフライアッシュ(石炭灰の一種)を使用。石炭火力発電所の産業副産物である石炭灰を有効活用します。
- CO<sub>2</sub>排出削減型  
セメント・セロ型  
セメントを使用せず、高炉スラグを特殊な反応剤を用いて固めます。最大で80%CO<sub>2</sub>排出を削減します。
- Carbon-Recycle  
セメントを使用せず、炭酸カルシウムなどを用いてコンクリート内部にCO<sub>2</sub>を固定し、CO<sub>2</sub>排出割合(固定・排出の収支)をマイナスにします。

止まることのない、目的地へ。

**飛島建設**

フジタと描く、未来のカたち。

私たちフジタは、お客様や社会が想い描いている未来を想像し、その実現に向かって、共にカタチにしていきます。土木・建築の枠を超えて、まちづくりをサポートし、そこに暮らす人々にとって本当に価値あるものを創り続けることが私たちの使命だと考えます。大和ハウスグループの一員として、広い視野を持ち、グローバルに展開してきたフジタ。たゆまず進む私たちに、どうぞご期待ください。

**FUJITA**  
Daiwa House Group

# プロジェクトを進めるために



## トップ対談

東京建設業協会 会長  
乗京 正弘氏

東京都技監  
谷崎 馨一氏



(のりきょう・まさひろ) 1980年京都大学大学院修了、飛鳥建設入社。執行役員建設事業本部長、取締役執行役員副社長などを経て2017年4月から飛鳥建設社長。24年5月東京建設業協会会長。大阪府出身、69歳。



(たにざき・けいいち) 1991年中央大学理工学部土木工学科卒業、東京都入庁。2023年4月都市整備局長、24年4月から現職(都市整備局長兼務)。大阪府出身、59歳。

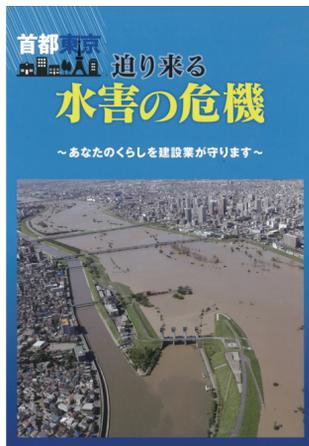
乗京会長 自然災害が近年、頻発しており、防災・減災対策の着実・継続的な実施は最優先かつ喫緊の課題だ。われわれ建設業は防災時に、いち早く現場に駆けつける社会的使命を、プライドを持って担っている。

谷崎 23年12月、TOKYO強靱化プロジェクトの道筋を確かなものとするため、気候変動の影響なども踏まえて、ハード・ソフトの両面から施策を強化したプロジェクトをアップグレードした。40年代を目標年次と定め、その時点で目指すべき到達点と、実現のために必要な施策と事業規模として、総事業費が1兆円と明確に示した。このうち中間時点となる最初の10年間は7兆円の投資になると見込んでいる。東京に迫る五つの危機と複合災害に対して、インフラ整備などハード面に主眼を置きつつ、ハード面の備えの効果を最大限高める観点から、デジタル技術の活用や都民への情報提供などソフト施策を組み合わせて、実効性の高い施策を展開する。

気候変動による風水害の激甚化や切迫性高まる首都直下地震の発生など、わが国の首都であり経済の中心都市である東京は、大規模災害がいつ発生してもおかしくない状況にある。そうした災害から私たちの命を奪うのを防ぐのは行政の役割であり、地域の守り手である建設業にほかならない。東京都が取り組んでいる「TOKYO強靱化プロジェクト」について、谷崎馨一(東京都技監)と乗京正弘(東京建設業協会(東建)の会長)に対談してもらった。

# 担い手確保に官民一体で

## 建設業と意識共有し高い効果目指す 谷崎氏



迫り来る水害の危機 (東京建設業協会提供)

谷崎 東京を強靱で持続可能な都市に創り上げるためには、多様な主体と緊密に連携しながら施策を展開することが必要だ。首都・東京の強靱化は、わが国全体に影響するため、国との緊密な連携が欠かせない。高規格堤防や避難スペースを確保した建築物の整備などの災害対策を含めたまちづくりを進めるには、都民の暮らしに密着し、きめ細かな対応を行う市区町村など地元自治体と連携して推進しなければならない。具体的には、今後の風水害の激甚化に向けて、高台まちづくりが一つの大きな取組になり、それには国との連携、地元との連携が必要だと考えている。

乗京 防災・減災対策を早急かつ強力に進めるには東京と一体的な行動が不可欠だ。防災・減災、国土強靱化を著実に推進するための国と都の連携・相互調整に期待している。

谷崎 地域や民間との連携に加え、社会全体の気運醸成も必要だと思っっている。安全・安心の確保には、公助の取組に加え、自助・共助それぞれの機能を発揮させなければならない。

まかせられる人が、いる。

西松建設は、人でできている。  
動く人。挑む人。粘る人。閃く人。創る人。話す人。  
そこに共通するのは、  
いつも誰かの役に立ちたいと想っているということ。

私たちの使命は、安心・安全な暮らしの土台をつくること。  
だから、誰よりも「信じられる存在」でありたい。

もっと、お客様のために汗を。  
もっと、社会のために価値を。  
もっと、明日のために挑戦を。

一人ひとりの今日を積み重ねて、未来を生んでいく。  
「人」を誇る西松建設の、150年目の約束です。

建設業の社会的使命に取り組み  
“TOKYO強靱化”を支えてまいります

東京建設業協会

一般社団法人 東京建設業協会  
会長 乗京正弘  
東京都中央区八丁堀2-5-1 電話 03-3552-5656

Be a ChangeBuilder.

Changemakerとよばれる、自ら変化を生み出し、社会を大きく変えていく人たちがいる。  
安藤ハザマは土木・建築の「築く」力で、人々の暮らしや社会の発展を支えている。  
社会も、価値観も、働き方も、気づけばすべてが変わっていく時代に、求められるのは、自ら変化を生み出せる力。  
未来をよりよくするために。  
人と技術で、あらたな課題へ挑み続け、まだない答えを生み出し続ける。  
わたしたちは、建設から社会を変えていく。  
さあ、ChangeBuilderになろう。

未来から信頼される  
建設会社へ。

trust of the future

前田建設  
https://www.maeda.co.jp

INFRENER Holdings Inc.

# 官民でTOKYO強靱化



乗京 東京建設業協会も、社会資本整備の重要性や建設業の役割を示した「首都東京 迫り来る水害の危機」や都民向け「災害対策ハンドブック」、「耐震診断・改修のススメ」を発行、配布してきた。協会R誌の「東建月報」では昨年、関東大震災100年特集を連載した。関東大震災100年だった昨年は、防災イベント「親子体験インフラツーリズム」として「こもろアリア東京見学」東京港クルーズを実施したほか、「関東大震災特別企画展」へ出展し、建設業界が取り組む防災・減災の事業PRした。

TOKYO強靱化プロジェクトの担い手である建設業界は多くの課題を抱えている。

乗京 時間外労働上限規制や、働き方改革・生産性向上、資機材価格の高騰などの課題に直面している。2024年4月に強化された時間外労働上限規制に関しては、週休日確保や適正な工期発注が不可欠。その実現には公共発注・民間発注を問わず、適正な工期についての受発注者双方の認識共有が必要であり、これまでも意見交換の場を設けていた。引続きお願いしたい。災害対応や、昨今の猛暑など、やむを得ない事情に対する柔軟な工期変更の必要性もあり、受発注者双方の意見交換をより密接に行っていただきたい。

谷崎 東京都発注工事を通じて、働き方改革を推進している。週休日制定者に向けて必要な経費を計上するなど、担い手確保を後押しする。現場状況や工事内容、天候などを踏まえた適切な工期設定で、長時間労働の削減につながる。民間企業との協働の観点から、既存の制度・運用を見直ししたい。

乗京 働き方改革の「環」として、「目指せ！建設現場10日1斉閉所 東京キープデー」を展開するなど、公共・民間を問わず全ての工事現場で「4週8閉所・完全週休2日の実現」に向けて取り組んでいる。若い人達に選ばれる「魅力ある建設産業」に向けた生産性向上と働き方改革につながる。BIM/CIMや建設DX、現場の省人化などに開くセミナー開催など、協会としても会員企業の発展に向けた取り組みを積極的に進めている。

谷崎 東京都では積算の簡素化のため、概略発注方式の拡大検討などにより、工事発注の迅速化・効率化を目指している。業務の効率化を進めるためのアウトソーシングも実施する。DX・AIを活用した効率化、現場の生産性向上にも取り組んでいる。都では昨年度発注工事のうち72件でICT施工を実施した。情報共有システムの活用で書類提出手間の削減や効率的な情報の共有、遠隔現場の対象拡大など、業務の効率化、無人化による安全性および生産性向上を実現する。

乗京 資機材価格の高騰は続いており、実勢価格と乖離（かいり）した予定価格となっていることが多い。改正担い手三法（公共工事品質確保促進法、建設業法、公共工事入札契約適正化法）の一体改正で定められた資材高騰による価格転嫁協議の円滑化もぜひお願いしたい。

谷崎 建設業界と同様に、近年、都庁を就職先として希望する技術職員が減少傾向にある。都の都市づくり、インフラ対策の魅力発信が必要がある。官

## 広報活動も協力展開

民が協力し、業界全体を盛り上げる行動が大切だ。こつこつと対象も新聞紙上で発信していくか、継続的にメディアを交えた三者が取り組んでいければと思う。

乗京 建設業は災害発生時には最前線で復旧に当たるなど、地域の守り手として重要な役割を果たすが、建設業の就業率（技術者・技能者）は年々減少傾向にあり、特に中小企業は、若者の獲得が難しい状況だ。地域の守り手を確保するために、建設業の魅力や社会への貢献度を発信することが重要だと認識しており、8月に開催したインフラツーリズムにも多くの親子連れの方々が参加してもらった。今後も未来を託す子供達にも建設業の接点を増やしたいと思っている。

谷崎 インフラは変人気があり、インフラの大切さの認知につながる。われわれの仕事は10年20年かかる仕事で、一生のうちにくらべて完成させれば、自分が手がけたというものがあろうと思う。その魅力を発信して、この業界の重要性を伝える。

乗京 東京建設業協会では、学生向け合同企業説明会や、現場見学会、建設系高校生を対象にした「東京都建設系高校生作品コンベンション」を開催するな

ど、業界PRと入職希望者集めに力を注いでいる。

谷崎 学校教育の中で、建設業に限らずさまざまな職業について学習する機会を増やせるように。

乗京 タムの建設現場に仕事していたころ、約1000人の作業員が働いていた。最新のタム現場は、遠隔操作された建設機械が作業していて人間を見かけない。現場を見れば苦痛な業務でないことが分かるので、多くの人に建設現場をPRしたい。

——TOKYO強靱化プロジェクトの今後をどう展望し、展開するか。

谷崎 昨年のアップグレード公表後、能登半島地震をはじめ、山形県の線状降水帯の発生、都内でも記録的短時間大雨情報が出されるなど、大規模な災害が頻発している。TOKYO強靱化プロジェクトはこれらの災害を教訓に、不燃化の加速や耐震性の促進、液状化対策の支援の拡大など、レベルアップしながら着実に実施していかなければならない。環七地下調節池の整備や防潮堤のかさ上げなど激甚化する風水害から命と暮らしを守る対策を強化するほか、高台まちづくりの加速、グリーンインフラを活用した雨水流出抑制対策、地下空間の浸水対策、改正盛土規制法の運用に合わせて開始した人工衛星による不適正盛土の監視など、こうしたプロジェクトの着実な推進に向けて、建設業界の皆さんと危機意識を共有し、強靱化を進めていくことが重要だ。

乗京 建設業だけでなく、官民共同で魅力や社会への貢献度を積極的に発信していくことが大切であり、広報活動を強力に進めたい。さらに、災害時における建設業の社会的使命を果たすためには、建設業が自ら継続して事業活動ができる体制にならないといけないと考えており、事業継続計画（BCP）の策定が重要。今後、中小規模の会員企業にも普及を図り、災害時にも能力を発揮できるように平時からの備えを万全にした。

谷崎 都の都市づくり、インフラ対策の魅力をどう発信していくか、これは都、工事の受注者をはじめ業界全体で取り組むべきことであり、色々な場面を通じてムーブメントを作っていく。建設業は国土や都市を守り守る仕事。引き続き力を合わせて取り組もう。



## 事業規模・必要性明示を歓迎

乗京氏



東京建設業協会が8月に開催した親子向けインフラツーリズム

乗京 建設業だけでなく、官民共同で魅力や社会への貢献度を積極的に発信していくことが大切であり、広報活動を強力に進めたい。さらに、災害時における建設業の社会的使命を果たすためには、建設業が自ら継続して事業活動ができる体制にならないといけないと考えており、事業継続計画（BCP）の策定が重要。今後、中小規模の会員企業にも普及を図り、災害時にも能力を発揮できるように平時からの備えを万全にした。

谷崎 都の都市づくり、インフラ対策の魅力をどう発信していくか、これは都、工事の受注者をはじめ業界全体で取り組むべきことであり、色々な場面を通じてムーブメントを作っていく。建設業は国土や都市を守り守る仕事。引き続き力を合わせて取り組もう。

その仕事が、誰かの未来になる。

— 総合建設業 / 創業1862年 —  
佐藤工業株式会社  
https://www.satokogyo.co.jp

信じるんだ、自分を、仲間を、叶える力を。

# Believe.

高める、つくる、そして、支える。

熊谷組

125 Years & Beyond  
PENTA-OCEAN

## 新たな挑戦が始まる

An Era of New Challenge Begins

五洋建設は、海の土木にはじまり、陸の土木、建築へと業容を拡大してまいりました  
DNA である進取の精神でデジタルとグリーンに挑戦します  
部門の垣根を越えて、グローバルに、さらにその先の未来へ

五洋建設株式会社  
https://www.penta-ocean.co.jp/

80 TEKKEN

# 暁天

今、世界は大きく変わろうとしている。先人たちが培ってきた想いを受け継ぎながら、既成概念の壁に挑み、新しい発想や技術に磨きをかけ明日に向かって進んでいく。さあ、今この瞬間から超えていこう。それこそイノベーションを巻き起こし、私たちが明るい世界に導く原動力となる。新しい時代への夜明けは近い。

## 挑め、進め、超えろ。

鉄建建設  
TEKKEN

「暁天」動画公開中

各部局概要

都市整備局

理事 (航空政策・交通基盤整備・交通政策担当) 三宮 隆



都市整備局は、都市づくり全般に関わる政策の立案、道路や鉄道などの都市基盤整備、土地区画整理事業や都市再開発事業などによる市街地の整備、宅地開発や建築物に関する指導など、都民生活や企業活動に広く関わる業務を担っています。気候変動や地震等の脅威に対しても強靱で持続可能な東京の実現に向けて、関係各局と連携を図り、「TOKYO強靱化プロジェクト」を推進しています。

避難場所や水害発生時の拠点機能を担う高台を整備する高台まちづくりを推進していきます。また、地震の脅威に対しては、木造住宅密集地域の改善を図るため、延焼遮断帯を形成する都市計画道路の整備とその沿道にまちづくりを積極的に推進していきます。具体的には、老朽建築物の除却・建替え促進に向けた助成などを進めるとともに、専門家派遣、ノウハウ提供等により区への取組を支援し、市街地の不燃化を推進しています。さらに、建築物の耐震化、狭あい道路の拡幅整備に対する支援や無電柱化などを推進しています。

強靱で持続可能な都市づくり

Infographic showing various urban planning strategies: 避難方策 (Evacuation strategies), 家づくり・まちづくり対策 (Housing and neighborhood strategies), 下水道整備 (Sewerage improvement), 河川整備 (River improvement), 流域対策 (Basin strategies), 防災都市づくりのイメージ (Image of disaster-resilient city building).

2024 TOKYO強靱化プロジェクト

五つの危機に対応

東京都は、2022年に開始した「TOKYO強靱化プロジェクト」を、23年12月に更新した。40年代までに必要となる風水害や大地震などへの対策事業規模は17兆円を見込んでいます。プロジェクト開始後も国内外で大規模な風水害や地震が相次いだことから、リスクへの備えを強化する見直しを行った。

プロジェクトの事業規模

Table showing project scale: (1) Total project scale (概算) 17兆円 (うち当初10年間 7兆円). Includes notes about fiscal years and project completion.

Table showing project scale (概算)の内訳 (Breakdown of estimated project scale). Columns: 区分 (Category), 事業規模(概算)の内訳 (Project scale breakdown), 主な事業 (Main projects).

Advertisement for Kisojiban (基礎地盤コンサルタンツ株式会社) featuring a woman in a hard hat and text about supporting the country and disaster resilience.

Advertisement for Sanwa Construction (三井住友建設) with the slogan 'はしも、まちも、ひとも。' (Bridges, neighborhoods, and people) and a cityscape image.

Advertisement for Chiyoda Construction (東急建設) with the slogan 'あなたから始まる 住まいづくりを、もっと。' (Start your housing construction, more).

Advertisement for Okumura Corporation (奥村組) featuring a young girl in a hard hat and the slogan '建設が、好きだ。' (I love construction).

Advertisement for Tokai Construction (東急建設) with the slogan '0へ挑み、0から挑み、環境と感動を 未来へ建て続ける。' (Challenge 0, challenge from 0, continue building for the future with environment and感动).

# 2024 TOKYO強靱化プロジェクト

# 各部署概要

## 建設局

局長 花井 徹夫



建設局は、首都東京を支える道路や河川・公園といった都市基盤を整備・管理していることから、24時間365日体制で、都民の皆様の安全・安心な生活を守る責任を負っています。そのため、常に危機管理を念頭に置き、「TOKYO強靱化プロジェクト」に基づき、100年先も安心できる東京を目指して、調節池の整備や堤防の耐震・耐水化、無電柱化、特定整備路線や道路ネットワーク、防災公園などの整備を着実に進めています。

主な事業を紹介させていただきます。まず風水害への対策として、調節池の整備については、これまで27カ所、総貯留量約264万立方メートルの整備が完了し、現在8カ所、約130万立方メートルの工事を実施しています。さらに気候変動への備えとして、2030年度までに約200万立方メートルの調節池の事業化を目指しています。実際、今年7月の集中豪雨や8月の台風時には、多くの調節池で洪水を取水し、河川水位を低下させるなどの効果を発揮しました。加えて、環七地下広域調節池等と連結し東京湾まで繋げる地下河川の事業化に向けた取り組みも進めています。

次に地震対策ですが、無電柱化については、17年に都道府県で初となる「無電柱化推進条例」を制定するとともに、地震や台風への備えを一段と高めるため、20年度には、7つの戦略を掲げた「無電柱化加速化戦略」を策定しました。21年度には、この戦略を踏

## 住宅政策本部

本部長 小笠原 雄一



住宅は生活の基盤であり、福祉、子育て、環境、防災、地域社会の維持形成など、さまざまな行政分野とつながりがあります。そのため、都庁各局をはじめ、国や区市町村、民間と連携して取り組みを進めています。「TOKYO強靱化プロジェクト」において、住宅の観点からさまざまな取り組みを講じていきます。

例えば、「風水害」に関しては、日本各地で線状降水帯等による大きな被害が発生しております。住宅政策本部としては、水害から都民の生命や生活を守るため、区市と連携を結び、都営住宅等の共用部分・空き住戸を避難先に活用するなどの取り組みを行っています。

「地震」に関しては、いつ起きてもおかしくない震災に備え、都市の強靱化が必要不可欠です。特に、約900万人が暮らすマンション等の共同住宅の防災力強化は喫緊の課題です。

住宅政策本部では、2025年度末までに耐震性が不十分なマンションをほぼ解消することを目標に、旧耐震基準で建設されたマンションを対象に、耐震診断や耐震改修に係る助成事業を行う区市町村に対し、補助を行っています。

また、災害時に生活継続しやすい「東京とどまるマンション」の普及を進めています。この取り組みは、「TOKYO強靱化プロジェクト」のリーディング事業の一つとして位置づけられております。

東京とどまるマンション情報登録・閲覧制度は、耐震性があり、エレベーターや給水ポンプを動かせる非常用電源を備えているといったハード面での対策や、防災マニュアルの整備や防災訓練の定期的な実施などのソフト面での対策が実施されているマンションを登録・公表する制度です。マンションでこのようにハード面、ソフト面の防災対策が進むことで、在避難がしやすくなります。8月末時点で、345件、約6万7000戸のマンションが登録されています。

また、23年度より、登録マンションを対象に簡易トイレやエレベーター用の防災キャビネットなどの防災備蓄資器材の購入に対して補助を開始し、今年度からは周辺の町会等と合同で防災訓練を実施する場面に補助率を引き上げています。マンション内の防災活動の活性化を図るとともに、地域とのつながりも強化し、地域全体の防災力向上を支援しています。

これに加え、8月より発電機や蓄電池などの非常用電源設備の設置や、浸水被害から非常用電源を守るための止水板、防水扉の設置等に対しても補助を開始したところです。これらにより、ハード面からの対策を強化し、防災力が高いマンションとなるよう支援していきます。

普及にあたっては、親しみやすいマスコットキャラクターの「トドまるくん」を活用したパンフレットや動画なども作成しています。多くの方に制度

## 持続可能な都市・東京を実現



道路ネットワークの整備については、主要な防災拠点等を結ぶ緊急輸送道路となり得る幹線道路の整備や地域の防災性向上に資する道路の整備などを推進しています。また山間・島しょ地域の道路は、地域の生活や産業・経済を支えており、一たび自然災害などにより道路が寸断されると、地域の孤立化など甚大な影響を及ぼすため、避難や救援活動の生命線ともなる代替ルートを整備を進めています。

発災時に救出・救助の活動拠点や避難場所となる防災公園の整備については、防災計画等に位置づけのある63の都立公園で、防災上必要な蓄電池を備えた公園灯や、停電時にも管理所等を機能させる非常用発電機などの整備を進めてきており、今後は、新たな被害想定なども踏まえて、さらなる防災機能の強化に取り組んでいきます。

最後に噴火対策ですが、富士山噴火に伴う降灰時における道路閉鎖についても局では検討を進めています。降灰時降灰を優先する重要拠点を連絡する優先除灰道路を特定し、道路除灰手順の基本的な考え方を整理するなど、道路啓閉体制の構築に向けて取り組んでいます。

これら事業は一朝一夕に進むものではありませんが、一たび完成すると、絶大な効果を永続的に発揮し、都民にストックとして効果が還元されます。今後とも、先人たちが脈々と受け継がれてきた棒（たすき）をつなぎながら、職員が一丸となり、強靱で持続可能な都市・東京の実現に向けた都市づくりを着実に推進していきます。

## 「東京とどまるマンション」の普及へ

### 東京とどまるマンションの主な登録要件

- 耐震性
    - 昭和56年6月1日以降に建築確認を受けているもの（新耐震基準）
    - 旧耐震基準の建築物で、耐震診断又は耐震改修により、耐震基準への適合が確認されたもの
  - ハード対策
    - 停電時でも、水の供給および1基以上のエレベーターの運転を同時もしくは交互に行える電力供給可能な非常用電源設備が設置されていること。
  - ソフト対策
    - <必須事項> 防災マニュアルを策定していること。
    - <選択事項> 年1回以上の防災訓練の実施、3日分程度の飲料水・食料の備蓄、応急用資器材の確保、災害時の連絡体制の整備のうちいずれか一つに取り組んでいること。
- ※耐震性を有していることを前提に、ハード対策のみ、ソフト対策のみでの登録もできます。

### 【東京とどまるマンション情報登録・閲覧制度に関する問合せ窓口】

東京都住宅政策本部民間住宅部マンション課  
☎ 03-5320-5007



トドまるくん

株式会社 浅沼組

はこ 誇れる歴史がある 創りたい未来がある

Asanuma 代表取締役社長 浅沼 誠

本社・大阪本店 〒556-0017 大阪市浪速区湊町1丁目2番3号 TEL.06-6585-5500(代表)  
東京本店 〒108-0023 東京都港区芝浦2丁目1番6号 TEL.03-5232-5888(代表)

Zenitaka

創業1705年

変わり続ける社会にあって、変わらない私たちの思い。銭高組は、創業以来「社会から認められ、社会から求められる企業」として歴史を刻んできました。時代に豊かな環境を残すため、新たな価値を創り続けていきます。

時を超え、持続する価値創造を

◎ 銭高組  
URL: http://www.zenitaka.co.jp/

私たちの今が、社会の未来を創る  
Create Value, Build the Future

社会情勢の変化に対応する「しなやかさ」、激しい時代の潮流を掴む「俊敏さ」志を持って自身の成長を求める「自分らしさ」、地に足を付けて着実に前進する「一歩先へ」これらは私たちが実践する行動スローガンです。私たちは今、この時の行動ひとつひとつを大切に、これからの社会に新たな価値を創造し、ステークホルダーのみならず、未来の社会に貢献し続けることを約束します。

Reclamation of Pulau Tekong Singapore 2015

Toyo Suisan Ishikari Distribution Center Hokkaido, Japan 2020

Improvement of National Route 45 at Sakanoshita Iwate, Japan 2020

コーポレートメッセージを策定しました。

東亜建設工業 TOA CORPORATION  
〒163-1031 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー www.toa-const.co.jp

信頼に応える確かな技術

すべてはここから始まった...

重力式コンクリートダム 堤長1,100m 高さ91m 堤体積220万m<sup>3</sup> 基礎掘削量190万m<sup>3</sup>

DAIHO CORPORATION

# 各部局概要

# 2024 TOKYO強靱化プロジェクト

## 交通局

### 局長 久我 英男



東京都交通局は、都営地下鉄4路線を運行しており、2023年度には1日に約249万人のお客様にご利用いただくと、首都東京の経済活動や人々の生活を支える公共交通機関として重要な役割を担っています。

・安心の確保は最も重要な使命であり、交通局では、阪神・淡路大震災クラスを想定した耐震対策を10年度に完了し、東海豪雨クラスを想定した都市型水害対策を13年度に完了させたなど、これまでも着実に災害対策を進めてきました。一方で、気候変動により風水害が頻発・激甚化しているため、今後発生が予想される首都直下地震等の災害リスクも踏まえ、これまで以上に交通インフラの強靱化に取り組んでいく必要があります。

こうした中で、「TOKYO強靱化プロジェクト」において、交通局も災害対策に取り組みしています。

地下鉄の浸水対策については、都市型水害に加え、荒川氾濫や高潮といった大規模水害による浸水被害をシミュレーションした上で対策を検討し、施設整備の方向性や具体的な整備手法、手順を取りまとめた「東京都交通局浸水対策施設整備計画」を23年2月に策定しました。整備計画では、地上から地下への水の流入を防止するため、駅出入口65カ所に止水板等を整備するとともに、通風口、換気口、換気塔合わせて65カ所に浸水防止機等を設置します。また、地下部での浸水拡大防止の

を段階的に進めることとしています。昨年度から、一部区間の設計に着手したところであり、順次、かさ上げを進めてまいります。

風水害のみならず地震への備えも欠かせません。首都直下地震等が発生した際も、東京都は緊急物資等の受け入れや、首都圏の経済活動を支える物流機能を確保する役割を担っています。このため、耐震強化岸壁や防災船着場の整備、緊急輸送道路等における無電柱化の加速、橋梁・トンネルの耐震化・長寿命化を推進しています。海岸保全施設についても引き続き耐震・耐水化を進めるとともに、災害発生時には迅速に被害状況を把握できるようドローン等の活用を図ってまいります。

東京から約100〜1000km四方洋上に点在する伊豆諸島・小笠原諸島、島々にある港湾、漁港、空港、海岸の保全もまた、東京都港務局の重要な役割の一つです。高潮、津波だけでなく火山噴火などさまざまな自然の脅威に、外海に面した島々の生命と財産を守るため、外海に面した島々の防風・防波など気象や海象の条件の厳しい中、ハードとソフトの両面から強靱化に取り組んでいます。

鳥島地域は内海から隔てられていることから、災害発生時に情報の共有が難しいという課題があります。そこで全島の主要17港にライブカメラを設置し、港の様子をリアルタイムに把握できるようにしています。この映像はYouTubeで公開しており、誰で

本計画による施設整備は多岐にわたりますが、防水ゲートの新設・改修など、難度が高く、大規模な工事も含まれています。加えて、トンネル内や駅構内など、地下鉄の運行や営業に影響する場所での工事は、終電後から始発前までの限られた時間の作業に限定されるため、対策の完了までには長時間を要します。こうした中でも、効果的・効率的に整備を進め、都市型水害については30年代半ばの対策完了を、大規模水害については、荒川氾濫が40年頃高潮は40年代半ばの対策完了を目指しています。

地下鉄の耐震対策については、東日本大震災クラスの地震が発生した際に、おける施設の安全性の向上と早期の運行再開を図ることを目標に、高架部の橋脚を追加で補強してきたほか、地下駅部の柱の補強工事も進めています。今後補強する柱は、柱を補強する前に設備等を移設する必要があるなど難度が高く、施工に時間を要するものも多いため、駅の大規模改修と合わせて工事を実施するなど、効率のかつ効果的に補強を進めていきます。

今回紹介した取組は「TOKYO強靱化プロジェクト」のもと、都庁各局や他の交通事業者と連携を図りながら推進しています。東京が持続可能な都市へと成長していくには、安全かつ安心して利用できる公共交通機関の存

## 港湾局

### 局長 松川 桂子



東京港は、日本のみならず世界から人や物、情報が集まる「国際都市・東京」の玄関口です。首都圏400万人の生活と産業を支える港であり、背後には業務・商業・住宅・行政など幅広い機能が高度に集積した都市が広がっています。都民の生命と財産を守り、日本を支える首都機能や経済活動を維持し続けることは東京都の重要な責務です。東京都港務局では、伊勢湾台風級の高潮や、想定される最大級の地震から東京を守るため、100年先の気候変動も見据えつつ、都市の強靱化に取り組んでいます。

東京の区部東部にはゼロメートル地帯が広がっており、ひとたび高潮等に浸水が発生した場合は甚大な被害が予想されます。このため、防潮堤や水門、陸揚等の海岸保全施設を整備することで高潮などによる浸水を防ぐとともに、水門閉鎖中の降雨時にはポンプで防潮堤の外となる海側に強制排水できるように排水機場を整備しています。さらに、台風などで高潮の発生が予測される際には水門を閉鎖する必要がありますが、その操作支援のためにAIによる水位変動予測を行っています。

また、気候変動の影響による海面水位の上昇は既に顕在化しつつあり、2100年に平均気温が2度上昇した場合には海面水位が最大で約60cm上昇するといつ予測もあります。そのため、東京都港務局では気候変動による海面水位の上昇を想定し、防潮堤のかさ上げ

を段階的に進めることとしています。昨年度から、一部区間の設計に着手したところであり、順次、かさ上げを進めてまいります。

風水害のみならず地震への備えも欠かせません。首都直下地震等が発生した際も、東京都は緊急物資等の受け入れや、首都圏の経済活動を支える物流機能を確保する役割を担っています。このため、耐震強化岸壁や防災船着場の整備、緊急輸送道路等における無電柱化の加速、橋梁・トンネルの耐震化・長寿命化を推進しています。海岸保全施設についても引き続き耐震・耐水化を進めるとともに、災害発生時には迅速に被害状況を把握できるようドローン等の活用を図ってまいります。

東京から約100〜1000km四方洋上に点在する伊豆諸島・小笠原諸島、島々にある港湾、漁港、空港、海岸の保全もまた、東京都港務局の重要な役割の一つです。高潮、津波だけでなく火山噴火などさまざまな自然の脅威に、外海に面した島々の生命と財産を守るため、外海に面した島々の防風・防波など気象や海象の条件の厳しい中、ハードとソフトの両面から強靱化に取り組んでいます。

鳥島地域は内海から隔てられていることから、災害発生時に情報の共有が難しいという課題があります。そこで全島の主要17港にライブカメラを設置し、港の様子をリアルタイムに把握できるようにしています。この映像はYouTubeで公開しており、誰で

## 乗客の安全確保最優先に災害対策強化



在が不可欠との認識のもと、全職員が一丸となって災害対策の強化に取り組んでいます。

三田線志村坂上駅での耐震補強

## 防潮堤の段階的なかさ上げなど



型船舶が着岸できる緊急輸送用岸壁を全島に原則1か所は確保しているように整備を進めています。

東京都港務局では災害に強い都市の実現に向け、今後も強靱化の取り組みをレベルアップしてまいります。

かさ上げ予定の防潮堤(東部地区)

**若き感性、築いた伝統。**

その風は、海から生まれた。そして、空を駆けぬるように、道を築くように。街と街を動かした。物語を紡いだ。海軍士木から始まった私達の「ものづくり」の歴史は、いま、世界をフィールドに、次のステージへ羽ばたこうとしている。この先もずっと、社会を支え続けるために、大々に幸せを届けるために。サステナビリティの追求とカーボンニュートラルの取り組みを強化しながら、さらなる夢をかたちにしていく。

**若築建設**  
WAKACHIKU

〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-23-18  
TEL.03-3492-0271 FAX.03-3490-1019  
www.wakachiku.co.jp

**海風とかなえるカーボンニュートラル**

1929年の創業から1世紀にわたり、海とともに歴史を紡いできた誇りを胸に、「洋上風力発電」への取り組みをさらに加速し、社会課題の解決や豊かな未来づくりに貢献します。

**東洋建設**  
TOYO CONSTRUCTION

〒101-0051 東京都千代田区神田保町1-105  
TEL.03-6361-5450  
https://www.toyo-const.co.jp/

**地震大国が備えるべき下水道施設の耐震化対策**

<b>耐震 MAGMA LOCK</b> φ800~3500	<b>耐震 MAGMA LOCK NGJ</b> φ800~3000	<b>耐震 MAGMA LOCK mini-NGJ</b> φ200~700 φ250~700	<b>修繕 SNAP LOCK</b> φ200~700 φ800~3500
-----------------------------------	---------------------------------------	--	---

**日本スナップロック協会**  
〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10-3 TMSビル  
TEL.03-3355-3851 http://www.snap-lock.jp/

関東ブロック支部 会員一覧

相模川管理 027-253-1832	南関東実行センター 0285-23-3026	株 兵衛工業 027-347-5019
イヅカ工業 028-612-7272	株 シュウエイ 045-444-8174	株 ヒルゲルベス 045-531-6359
宇都宮文化センター 028-633-6171	東亜グロウト工業 03-3355-3100	株 村川建設 0276-72-4652
株 大岩建設 0287-23-1610	株 日栄興業 048-526-3821	株 古川技建 0294-35-7601
株 大林道路 03-3295-8852	株 ナビゲイブル 03-5764-2300	株 下野建設 048-768-7285
株 オオノ建設 03-3856-0455	株 花和産業 0296-43-7240	株 ワイエス 03-6416-0054
株 環境技建 048-969-5777		株 渡辺建設 028-661-5551

**高強度 長期曲げ弾性率 9500N/mm<sup>2</sup>**

**光速施工ナンバー1!**

アルフライナー工法の特長

- 呼び径150~800で自立管対応
- 材料は3ヶ月保存可能
- 硬化前に出来形確認ができる
- 環境温度の影響を受けない
- 浸入水があっても施工可能
- 既設管への追従性に対応
- 塩ビ管への施工が可能

適用管種: 硬質塩ビ管、軟質コンクリート管、陶管、鋼管、鋼鉄管 等

**光硬化工法協会 南関東地域支部**  
〒160-0004 TEL 03-5367-8948/FAX 03-3355-3107



<p>一般社団法人 <b>JCM</b> 全国土木施工管理技士会連合会</p> <p>会長 奥野 晴彦</p> <p>〒102-0076 東京都千代田区五番町6-2(ホームポートホライゾンビル一階) 電話 03(3262)7421(代表) FAX 03(3262)7424 https://www.ejcm.or.jp/</p>	<p>一般社団法人 <b>JSCA</b> 日本建築構造技術者協会</p> <p>会長 小林 秀雄 JSCA東京代表 一條 典</p> <p>東京都千代田区三番町24(林三番町ビル) 電話 03(3262)8498 FAX 03(3262)8486</p>	<p>進化する技術と社会への貢献 PC建協の未来地図 一般社団法人 <b>プレストレスト・コンクリート建設業協会</b></p> <p>会長 堤 忠彦</p> <p>東京都新宿区津久戸町4-6(第三ビル) 電話 03(3260)2535</p>	<p>一般社団法人 <b>JRCA</b> 日本道路建設業協会</p> <p>会長 西田 義則</p> <p>東京都中央区八丁堀2-5-1(東京建設会館) 電話 03(3537)3056</p>	<p>一般社団法人 <b>建設コンサルタンツ協会</b></p> <p>会長 中村 哲己</p> <p>東京都千代田区三番町1(KY三番町ビル8階) 電話 03(3239)7992 FAX 03(3239)1869</p>
<p>日本港湾空港建設協会連合会</p> <p>会長 津田 修一</p> <p>東京都港区新橋5-27-3(新橋五光ビル) 電話 03(3432)2671</p>	<p>一般社団法人 <b>TODENKYO</b> 東京電業協会</p> <p>会長 門間 俊道</p> <p>東京都港区元赤坂1-7-8 電話 03(3403)5181(代表)</p>	<p>一般社団法人 <b>東京都中小建設業協会</b></p> <p>会長 渡邊 裕之</p> <p>東京都新宿区新宿2-10-7(TOMビル) 電話 03(3356)7711</p>	<p>一般社団法人 <b>全国クレーン建設業協会</b></p> <p>会長 柴崎 祐一 副会長 漆原 久雄 副会長 与田 真矢尚 副会長 勝又 ひとみ 副会長 坪内 敏剛</p> <p>東京都中央区京橋2-5-21(京橋NSビル7階) 電話 03(3562)7018</p>	<p>一般財団法人 <b>SCOPE</b> 港湾空港総合技術センター</p> <p>理事長 山縣 宣彦</p> <p>東京都千代田区霞が関3-3-1(商友会館) 電話 03(3503)2081</p>
<p><b>東京建設重機協同組合</b></p> <p>理事長 高村 伸彦 副理事長 山崎 忠彦 副理事長 市原 洋一 副理事長 竹中 敏治</p> <p>〒104-0031 東京都中央区京橋2-5-21(京橋NSビル7階) 電話 03(5250)7001</p>	<p>安心と信頼を届けます <b>三多摩生コンクリート協同組合</b></p> <p>理事長 小林 正剛</p> <p>東京都立川市柴崎町3-11-22 電話 042(529)2121</p>	<p><b>東関東生コン協同組合</b></p> <p>理事長 西森 幸夫</p> <p>東京都足立区千住仲町19-8(太陽生命千住ビル) 電話 03(3879)5141</p>	<p>コンクリートで夢を形に!! <b>東京地区生コンクリート協同組合</b></p> <p>理事長 森 秀樹</p> <p>〒103-0027 東京都中央区日本橋3-2-5(毎日日本橋ビル3階) 電話 03(3271)2181</p>	<p><b>全国仮設安全事業協同組合</b></p> <p>理事長 近藤 昌三</p> <p>東京都中央区日本橋小伝馬町15-18 電話 03(3639)0641 http://www.kasetsuanzen.or.jp</p>
<p><b>鴻池組</b> KONOIKE CONSTRUCTION CO.,LTD.</p> <p>代表取締役社長 渡津 弘己</p>	<p>株式会社 東京ソイルリサーチ TOKYO SOIL RESEARCH CO.,LTD.</p> <p>代表取締役 辻本 勝彦</p> <p>東京都目黒区東が丘2-11-16 電話 03(3410)7221</p>	<p>TAISEI ENGINEERING <b>大成エンジニアリング株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 岩崎 信治</p> <p>東京都新宿区馬場下町1-1 電話 03(5285)3151</p>	<p>水と環境の Consulting &amp; Software <b>NJS</b></p> <p>公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会会員 〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目1番 TEL 03-6324-4356(代表) FAX 03-6324-4356 URL https://www.njs.co.jp/</p> <p>株式会社 NJS 代表取締役社長 村上 雅亮</p>	<p>価値ある環境を未来に 株式会社 <b>EJEC</b> エイト日本技術開発</p> <p>代表取締役社長 金 声漢</p> <p>本店 岡山市北区津島京町3-1-21 Tel.086-252-8917 本社 東京都中野区中野2-24-11 Tel.03-5341-5152</p>
<p><b>松井建設株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 松井 隆弘</p>	<p><b>ナカノフドー建設</b></p> <p>代表取締役社長 飯塚 隆</p>	<p><b>みらい建設工業株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 石橋 宏樹</p>	<p><b>りんかい日産建設</b></p> <p>代表取締役社長 永尾 秀司</p>	<p>生きるちからを作る会社 <b>株木建設株式会社</b></p> <p>取締役社長 株木 康吉</p>
<p><b>鹿島道路株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 吉田 英信</p> <p>東京都文京区後楽1-7-27 電話 03(5802)8001</p>	<p><b>株式会社 ガイアート</b></p> <p>代表取締役 石塚 周平</p> <p>東京都新宿区新小川町8-27 電話 03(5261)9211</p>	<p>SINCE1923 <b>OKAKEN</b> 岡建工事株式会社</p> <p>代表取締役社長 岡本 恵子</p> <p>東京都墨田区東駒形1-5-9 電話 03(3624)1711</p>	<p><b>MIRAITONE</b> 西武建設株式会社</p> <p>代表取締役社長 佐藤 誠</p>	<p><b>村本建設株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 久米 生泰</p>
<p>GEO Challenger — 地下技術の挑戦者 — <b>ケミカルグラウト株式会社</b> CHEMICAL GROUTING CO.,LTD.</p> <p>代表取締役社長 相河 清実</p> <p>本社 東京都千代田区霞が関3-2-5(霞が関ビルディング) 電話 03(6703)6767</p>	<p><b>MAEDA</b> 前田道路株式会社</p> <p>代表取締役社長 今泉 保彦</p> <p>東京都品川区大崎1-11-3 電話 03(5487)0011</p>	<p><b>NIPPO</b> 株式会社 NIPPO</p> <p>代表取締役社長 和田 千弘</p> <p>東京都中央区京橋1-19-11 電話 03(3563)6751</p>	<p><b>TOA</b> 東亜道路工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 森下 協一</p> <p>東京都港区六本木7-3-7 電話 03(3405)1811</p>	<p><b>大成ロテック株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 加賀田 健司</p> <p>東京都新宿区西新宿8-17-1 電話 03(5925)9431</p>
<p><b>京浜港湾工事株式会社</b></p> <p>代表取締役 黒子 政治</p> <p>東京都大田区羽田1-21-7 電話 03(3741)0016</p>	<p><b>丸泰土木株式会社</b></p> <p>代表取締役会長 梅田 巖 代表取締役社長 玉川 文明</p> <p>東京都江戸川区北葛西3-5-17 電話 03(3689)4111</p>	<p><b>MARU FUJI</b> 丸藤シートパイル株式会社</p> <p>代表取締役社長 羽生 成夫</p> <p>東京都中央区日本橋本町3-7-2 電話 03(3639)7641</p>	<p>地盤技術のプロバイダー!! <b>三信建設工業株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 山崎 淳一</p> <p>〒111-0052 東京都台東区柳橋2-19-6 電話 03(5825)3700</p>	<p><b>日本基礎技術株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 中原 巖</p> <p>東京都渋谷区幡ヶ谷1-1-12 電話 03(5365)2500</p>
<p><b>株式会社千代田組</b></p> <p>代表取締役社長 網崎 一成</p> <p>東京都港区西新橋1-2-9(日比谷セントラルビル) 電話 03(3503)8111</p>	<p><b>株式会社藤原工務店</b></p> <p>代表取締役 藤原 佐吉</p> <p>東京都豊島区巣鴨5-41-16 電話 03(3915)1691</p>	<p>空気と水のテクノロジー <b>株式会社 テクノ菱和</b></p> <p>代表取締役社長 加藤 雅也 社長執行役員</p> <p>東京都豊島区南大塚2-26-20 電話 03(5978)2541</p>	<p><b>ダイダン</b></p> <p>代表取締役社長 山中 康宏</p> <p>大阪市西区江戸堀1-9-25 電話 06(6447)8000</p>	<p>こころかよう明日を。 <b>工藤電業株式会社</b></p> <p>代表取締役 工藤 賢作</p> <p>東京本店 東京都葛飾区水元3-16-13-104 電話 03(3627)2477 千葉本社 千葉県柏市新柏1-16-12 電話 04(7166)9022</p>

ひとりひとりが、未来を灯す。

**KANDENKO**

〒108-8533 東京都港区芝浦4丁目8番33号 https://www.kandenko.co.jp/

H30 吉野地区(その3)防災工事(神奈川県相模原市)

見えないところにこそ、  
私たちのプライドがある。

水を湛える雄大なダム直下には、  
その水を漏らさないために  
もう一つのダムが地下に造られています。  
その技術こそが、  
私たちが仕事に取り組むときの  
プライドの原点であり、  
今、提供する全ての技術サービスの  
源流になっています。

**NITTOC** 日特建設株式会社

Matsumura 未来になる街をつくる。

**130th ANNIVERSARY** 株式会社松村組  
www.matsumura-gumi.co.jp

時代を導き、  
建物の未来を  
支えていく。

建築設備の総合エンジニアリング企業

**斎久工業株式会社**

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-4-1(丸の内パークビルディング)  
TEL.03-3201-0319 https://www.saiyu.co.jp

人と地球の心地良いをつくる

楽しく考えたい、空気・水・熱のこと

**朝日工業社**

さわやかな世界をつくる

**SHINRYO**  
新菱冷熱工業株式会社

チーム、きんでん。 Kinden

(施工力+技術力+現場力)×情熱

エネルギー + 環境 + 情報

“お客さま満足”  
という目標に向かって、  
さまざまなスタッフが力を結集。  
人間力を基盤とした  
総合エンジニアリング力で、  
あらゆるソリューションに  
お応えします。

**きんでん 80**

東京本店 東京都千代田区千代田3番41号 電話 03-5210-7272  
TEL.06-6375-6000 TEL.03-5210-7272  
https://www.kinden.co.jp/



# 100年先も安心な、 災害に強い都市「東京」へ。 プロジェクト始動。

TOKYO強靱化プロジェクト

検索



「100年先も安心」を目指して

# TOKYO

# 強靱化

# PROJECT





# 水門整備で都心部の防災力強化



発注者メッセージ

東京都港湾局  
東京港建設事務所  
所長 葛西 孝周

東京港建設事務所では、コンテナ碼頭や客船ターミナルなどの港湾施設整備、水門や排水機場等の海岸保全施設の整備・維持管理、新海面処分場の整備や東京港内の浚渫、港湾道路の無電柱化など、東京港の整備に関するさまざまな事業を実施しております。

その中で、今回は局の主要プロジェクトである新砂水門再整備事業についてご紹介いたします。

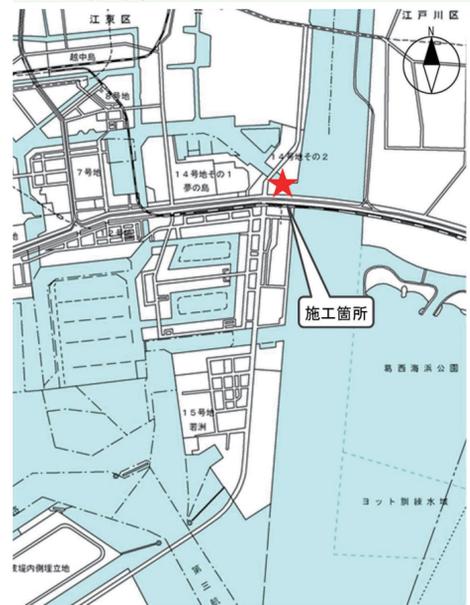
本事業は、東京港海岸保全施設整備計画に基づき、想定される最大級の台風や地震に備え、水害から都民の生命と財産を守ることを目的として、新砂水門の再整備を行うものです。

## 局一丸で早期完成へ

新砂水門は、多くのヨットやクルーザーが停泊する夢の島マリーナに近接する荒川河口付近に位置しております。門扉が上下に稼働するローラーゲート式では航行する船舶の高さに制限があるため、マストの高い船舶が航行できるよう、2枚の扇形門扉が付け根を支点にスイングするラジアルセクターゲート式を採用しております。

新砂水門再整備事業では、既存の水門と隣接する場所に耐震性を有する新たな水門の整備を行うこととしており、2015年度に工事着手しました。軟弱地盤対策などに時間を要しましたが、本年2月によりやく切梁設置やドライアップが完了いたしました。現在は、底板築造工事を実施しており、引き続き、堰柱工事や建築・設備工事を実施していく予定です。

今後も施設の早期完成を目指し、局一丸となり取り組んでまいります。



施工箇所(東京都ホームページから)

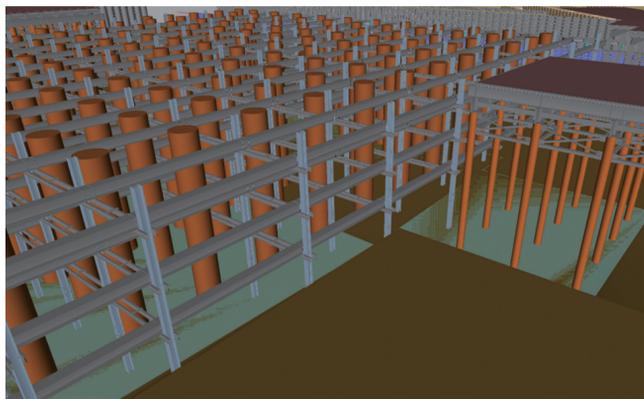
# 底板築造に向け床掘り実施



地盤改良



発注: 東京都港湾局  
施工: 東亜建設工業  
工事名称: 令和5年度新砂水門(再整備)建設工事(その2)  
工事場所: 東京都江東区3丁目地先~夢の島3丁目地先  
工期: 2024年2月29日~2025年2月28日  
位置図とパース除く写真・画像提供: 東亜建設工業



切梁の3DCADイメージ



東亜建設工業  
秋元寿一 作業所長

新砂水門は荒川河口部に接続する砂町運河の出入口に位置する。1976年の竣工以来、高潮などから東京の街を守り続けてきた。東京都は「東京港海岸保全施設整備計画」に基づき、地震や津波、高潮対策を目的に水門の再整備を進めている。「新砂水門再整備建設工事」では、現・新砂水門の隣接地で新たな水門を建設する。同プロジェクトは2015年度にスタート。今年2月から、令和5年度新砂水門(再整備)建設工事(その2)が進む。主要な工事は土工と水門底板。現在は水を抜いた後、川底を1.5mほど掘り下げ作業を行っている。今年中からは2機のクローラークレーンを使用し、水門底板工事に切りかかると、底版の幅約13m×68.4mの範囲に厚約4mのコングリートを打設する。型枠・鉄筋を組み立て、来年2月、その打設開始を見込んでいる。

実績を持つ。秋元寿一作業所長は18年度からのプロジェクトに携わってきた。18年度から22年度まで実施した地盤改良工事では、新水門の護岸背後地を改良し、施工には低圧空気圧入工法を採用。同工法は三管ロッドを用いて、▽圧縮空気▽超高压水▽超圧硬化材スラリーの流体を独立で噴射し、改良土を造成した。秋元作業所長は「厳しい護岸変位制限のあるなかで工事を完成させたい」と説明する。

今年2月から6月までは鋼管杭打設と健全度調査を行った。鋼管杭打設では水門の基礎杭になる鋼管「早く帰る」などの意味が込められている。

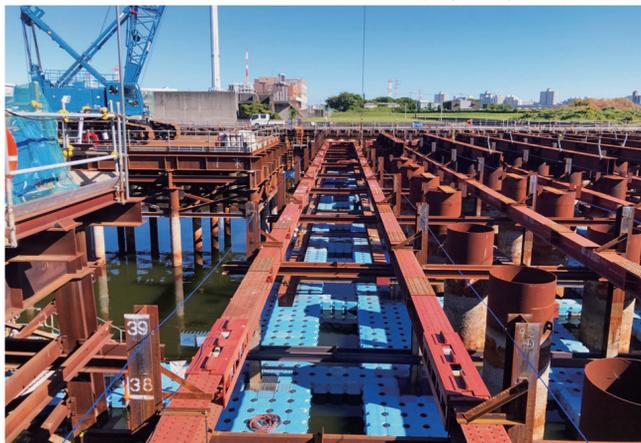
当初課題だった職員間のコミュニケーション不足に対しては、日々フリータイムを設ける。昨年度約30回の「カエル」会議を開き、働き方に関する課題を抽出することで、業務効率化につなげた。カエルには「仕事を振り回す」「働き方を変える」などの課題を共有し、職員一丸となって課題を解決し、職員一丸と日々フリータイムを設ける。昨年度約30回の「カエル」会議を開き、働き方に関する課題を抽出することで、業務効率化につなげた。カエルには「仕事を振り回す」「働き方を変える」などの課題を共有し、職員一丸となって課題を解決し、職員一丸と日々フリータイムを設ける。

## モデル現場指定、働き方改革推進

東亜建設工業は15年から現在までDCADを使用し、高精度かつ効率的な施工につなげた。杭の形状を調べたところ、健全度調査では力がかかった状態の鋼管杭が水門の基礎杭として問題なく使用できるかを調査した。過年度工事の影響で地盤劣化が確認されたことにより、鋼管杭も劣化が確認された。来年度以降、本格化する躯体工事に向けて秋元作業所長は「引き続き安全・品質管理を徹底し、働き方改革も継続し、若手の育成などにも力を入れていきたいと考えています」と意気込みを語った。



油圧ハンマーによる鋼管杭打設



切梁設置状況



完成イメージパース(東京都提供)



東京支店  
東京都中央区日本橋室町4丁目1番6号  
電話 03(6214)1300



